

各種控除申告書の留意点について

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

2. 保険料控除申告書について

3. 配偶者控除等申告書について

4. その他

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	あなたの生年月日	年 月 日	従たる給与についての扶養控除等申告書の提出 (提出している場合には、○印を付けてください。)
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号	あなたの個人番号	世帯主の氏名		
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	あなたとの続柄	配偶者の有無	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身

2 区分等	(フリガナ) 氏 名	個 人 番 号	あなたとの続柄	生 年 月 日	住所又は居所	異動月日及び事由
主たる給与から控除を受ける	源泉控除対象配偶者(注1)					
	B 扶養親族(16歳以上)(平17.1.1以降出生)	1				
		2				
		3				
		4				
	C 障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生	1				
		2				
		3				
		4				
	D 他の所得者が控除を受ける扶養親族等	氏 名	あなたとの続柄	生 年 月 日	住所又は居所	異動月日及び事由
氏 名		あなたとの続柄	生 年 月 日	住所又は居所	異動月日及び事由	

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.1.2以後出生)	(フリガナ) 氏 名	個 人 番 号	あなたとの続柄	生 年 月 日	住所又は居所	控除対象外(国外扶養親族)	令和2年分の所得の見積額	異動月日及び事由
1							円	
2							円	
3							円	
単身児童扶養者	該当する場合には左記にチェックを付けてください。		児童扶養手当証書の番号	生計を一にする児童の氏名	左記の児童の所得	令和2年分の所得の見積額	異動月日及び事由	



○この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
 ○この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
 ○この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
 ○この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	あなたの生年月日	年 月 日	従たる給与についての扶養控除等申告書の提出 (提出している場合には、○印を付けてください。)
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号	あなたの個人番号	世帯主の氏名		
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	あなたとの続柄	配偶者の有無	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号		住所又は居所	異動月日及び事由 (令和2年中に異動があった場合に記載してください(以下同じ。))
		あなたとの続柄	生年月日		
源泉控除対象配偶者(注1)					
主たる給与から控除を受ける B 扶養親族(16歳以上) (平17.1.1以降生)	1				
	2				
	3				
	4				
C 障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生	障害者	本人	同一生計配偶者(注2)	扶養親族	寡婦 寡夫 勤労学生
	一般の障害者			(人)	
	特別障害者			(人)	
	同居特別障害者			(人)	
上の該当する項目及び欄にチェックを付け、()内には該当する扶養親族の人数を記入してください。					
D 他の所得者が控除を受ける扶養親族等	氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	異動月日及び事由

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.1.2以後生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除対象外 国外扶養親族	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由
	1						円	
単身児童扶養者	該当する場合には左記にチェックを付けてください。	児童扶養手当 証書の番号	生計を一にする 児童の氏名	左記の児童の 所得の見積額	異動月日 及び事由			



○この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
○この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
○この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
○この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

(1)「所得の見積額」の記入漏れとご記入

所轄税務署長等	給与の支払者	(フリガナ)	あなたの生年月日	年	月	日
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所 又は居所	配偶者の有無	有	無	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が寡婦又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号	生年月日	住所又は居所	異動月日及び事由
源泉控除対象配偶者(注1)					
1	明・大 昭・平				
2					
3					
障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生					
1					
2					
3					
他の所得者が控除を受ける扶養親族等					
1					
2					
3					



この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者、寡婦又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、「注意」等をお読みください。

この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についての注意」等をお読みください。

「所得」とは（給与収入の場合）

… 収入金額から給与所得控除額を差し引いた金額。

※ 見積額が「0円」の場合には「0」と記入願います。

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を經由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.2以後生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたの住所 又は居所	生年月日	住所又は居所	控除対象外所得	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由
1							円	
2							円	
3							円	

単身児童扶養者 ☐ 該当する場合には左記にチェックを付けてください。 児童扶養手当 証書の番号 生計を一にする 児童の氏名 左記の児童の氏名 異動月日及び事由

改正後の給与所得控除額は、次のとおりです。

給与等の収入金額	給与所得控除額	
	改正前	改正後
162万5,000円以下	65万円	55万円
162万5,000円超180万円以下	その収入金額×40%	その収入金額×40%－10万円
180万円超360万円以下	その収入金額×30%＋18万円	その収入金額×30%＋8万円
360万円超660万円以下	その収入金額×20%＋54万円	その収入金額×20%＋44万円
660万円超850万円以下	その収入金額×10%＋120万円	その収入金額×10%＋110万円
850万円超1,000万円以下		195万円
1,000万円超	220万円	

別紙2参照

給与の収入金額 (源泉徴収票の支払金額)	給与所得
55万1千円未満	0円
55万1千円以上161万9千円未満	給与収入－550,000円
161万9千円以上162万円未満	1,069,000円
162万円以上162万2千円未満	1,070,000円
162万2千円以上162万4千円未満	1,072,000円
162万4千円以上162万8千円未満	1,074,000円
162万8千円以上180万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×2.4＋100,000円(＝給与所得)
180万円以上360万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×2.8－80,000円(＝給与所得)
360万円以上660万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×3.2－440,000円(＝給与所得)
660万円以上850万円未満	給与収入×0.9－1,100,000円
850万円以上2,000万円以下	給与収入－1,950,000円

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の 名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	あなたの生年月日	年 月 日	従たる給与につ いての扶養控除 等申告書の提出 (提出している場合 には、〇印を付け てください。)
税務署長	給与の支払者の 法人(個人)番号	あなたの個人番号	世帯主の氏名	あなたとの続柄	
市区町村長	給与の支払者の 所在地(住所)	あなたの住所 又は居所	(郵便番号 -)	配偶者の 有無	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

2	区分等	(フリガナ) 氏 名	個 人 番 号	住所又は居所	異動月日及び事由					
			あなたとの続柄	生 年 月 日						
	源泉控除 A 対象配偶者 (注1)									
	主たる給与から 控除を受ける B 扶養親族 (16歳以上) (平17.1.1以降出生)	1		明・大 昭・平						
		2		明・大 昭・平						
3			明・大 昭・平							
4			明・大 昭・平							
C 障害者、寡 婦、寡夫又は 勤労学生	障害者	区分	本人	同一生計 配偶者(注2)	扶養親族	寡 婦	寡 夫	勤労学生	左記の内容(この欄の記載に当たっては、裏面の「2 記載についてのご注意」の(8)をお読みください。)	異動月日及び事由
		一般の障害者				(A)				
		特別障害者				(A)				
		同居特別障害者				(A)				
上の該当する項目及び欄にチェックを付け、()内には該当する扶養親族の人数を記入してください。										
D 他の所得者が 控除を受ける 扶養親族等	氏 名	あなたとの 続 柄	生 年 月 日	住所又は居所	氏 名	あなたとの 続 柄	住所又は居所	異動月日及び事由		

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の 扶養親族 (平17.1.2以後生)	(フリガナ) 氏 名	個 人 番 号	あなたとの 続 柄	生 年 月 日	住所又は居所	控除対象外 国外扶養親族	令和2年中 の所得の見 積額	異動月日及び事由
	1						円	
	2							円
単身児童扶養者	該当する場合には左記に チェックを付けてください。	児童扶養手当 証書の番号	生計を一にする 児童の氏名	左記の児童 の所得	令和2年中 の所得の見 積額	異動月日 及び事由		



この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
 この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する
 必要があります。
 この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
 この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

(2) 源泉控除対象配偶者の記入漏れ

扶

給与の支払者等

従たる給与についての扶養控除等申告書の提出(提出している場合には、○印を付けてください。)

市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	(郵便番号)	配偶者の有無	有・無
-------	----------------	------------	--------	--------	-----

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

2	区分等	(フリガナ)氏名	個人番号	住所又は居所	異動月日及び事由
	源泉控除対象配偶者(注1)		あなたとの続柄 生年月日	住所又は居所	異動月日及び事由
	1		明・大 昭・平		
	2				
	3				
	障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生				
	他の所得者が控除を受ける扶養親族等				

「源泉控除対象配偶者」とは

… 所得者と生計を一にする配偶者で、

令和2年中の所得の見積額が95万円以下の人

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.12以後生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除対象外(国外扶養親族)	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由
1							円	
2							円	
3							円	
単身児童扶養者	該当する場合に左記にチェックを付けてください。		児童扶養手当証書の番号	生計を一にする児童の氏名	左記の児童の所得	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由	

○この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
○この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
○この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
○この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	あなたの生年月日 年 月 日	従たる給与についての扶養控除等申告書の提出 (提出している場合には、○印を付けてください。)
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号 2 0 0 0 0 0 2 0 0 0 2 0 0 0 1	あなたの個人番号	世帯主の氏名	
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所 (郵便番号 -)	あなたとの続柄	
			配偶者の有無	有・無

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号	住所又は居所	異動月日及び事由	
源泉控除対象配偶者(注1)		あなたとの続柄 生年月日 3			
主たる給与から控除を受ける B 扶養親族(16歳以上) (平17.1.1以降出生)	1	<input type="checkbox"/> 同居老親等 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特定扶養親族			
	2	<input type="checkbox"/> 同居老親等 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特定扶養親族			
	3	<input type="checkbox"/> 同居老親等 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特定扶養親族			
	4	<input type="checkbox"/> 同居老親等 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特定扶養親族			
障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生 C	<input type="checkbox"/> 障害者 区分 該当者 本人 同一生計配偶者(注2) 扶養親族 一般の障害者 (人) 特別障害者 (人) 同居特別障害者 (人)	<input type="checkbox"/> 寡婦 <input type="checkbox"/> 特別の寡婦 <input type="checkbox"/> 寡夫 <input type="checkbox"/> 勤労学生	左記の内容(この欄の記載に当たっては、裏面の「2 記載についてのご注意」の(8)をお読みください。)	異動月日及び事由	
	上の該当する項目及び欄にチェックを付け、()内には該当する扶養親族の人数を記入してください。				
他の所得者が控除を受ける扶養親族等 D	氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	異動月日及び事由
		控除を受ける他の所得者			
		氏名	あなたとの続柄	住所又は居所	異動月日及び事由

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.1.2以後出生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除対象外(国外扶養親族)	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由
1							円	
2							円	
3							円	
単身児童扶養者	<input type="checkbox"/> 該当する場合には左記にチェックを付けてください。		児童扶養手当証書の番号	生計を一にする児童の氏名	左記の児童の所得	令和2年中の所得の見積額	異動月日及び事由	



○この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
 ○この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
 ○この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
 ○この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

(3) 特定扶養親族欄と老人扶養親族欄の記入漏れ

所轄税務署長等	給与の支払者	(フリガナ)	あなたの生年月日	年	月	日
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	配偶者の有無	有	無	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生にいずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

区分等	(フリガナ)氏名	個人番号	住所又は居所	異動月日及び事由
源泉控除対象配偶者				
特定扶養親族				
老人扶養親族				
障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生				

「特定扶養親族」とは、19歳以上23歳未満の控除対象扶養親族(平成10年1月2日～平成14年1月1日生まれ)



この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしき提出することができません。この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

◎住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の扶養親族(平17.1.2以後生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたの住所又は居所	異動月日及び事由
単身児童扶養者				

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

(3) 特定扶養親族欄と老人扶養親族欄の記入漏れ

従たる給与についての扶養控除等申告書の提出/提出している場合には、○印を付けてください。

扶

給与の支払者(会社)

◎この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
◎この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する、生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
◎この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
◎この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告について注意」等をお読みください。

市区町村長	あなたの住所又は居所	配偶者の有無	有・無
-------	------------	--------	-----

「老人扶養親族」とは ... 70歳以上の控除対象扶養親族

源泉控除対象配偶者(注1)	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
1	明・大	昭和26年1月1日以前生まれ	

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
□	同居老親等		

同居老親等	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
2	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
3	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
4	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
5	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
6	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
7	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
8	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
9	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
10	明・大		

特定扶養親族	あなたとの続柄	生年月日	異動月日及び事由
11	明・大		

「同居老親等」欄の該当者

...老人扶養親族のうち、
所得者又はその配偶者の直系尊属であり、
所得者又はその配偶者のいずれかと同居している人

「その他」欄の該当者

...上記以外の老人扶養親族

◎住民税に関する事項(この他に、地方税法第10条の3の2及び第17条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養控除等申告書の記載欄を兼ねています。)

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者	異動月日及び事由
明・大					

資料2-2

扶

給与の支払者受取印

①の申告書は、あるたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
②の申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
③の申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
④この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についての注意」等をお読みください。

4

16歳未満の 扶養親族 (平17.1.2以後生)	(フリガナ) 氏 名	個 人 番 号				あなたとの 続 柄	生 年 月 日	住 所 又 は 居 所				除除対象外 所得扶養親族	令和2年中 所得の見積額	異動月日及び事由
	1						平 金	.	.				円	
	2						平 金	.	.				円	
	3						平 金	.	.				円	
	4						平 金	.	.				円	
単身児童扶養者	<input type="checkbox"/> 該当する場合には左記に チェックを付けてください。		児童扶養手当 証書の番号	生計を一にする 児 童 の 氏 名			左 所 得 の 額	の 見 込 め	業 務 所 得	の 利 子	異 動 月 事 及 び 日 由			

資料2-2

扶

扶
給金の支払者受給者

●障害者等に該当者がいる場合

① 「左記の内容」欄に障害の事実及び内容を記入。

② 最新の障害者手帳等の写し等を添付し、提出する。

4

左記の内容(この欄の記載に当たっては、裏面の「2 記載についてのご注意」の(8)をお読みください。)

(注)1 源泉控除対象配偶者とは、所得者(令和2年中の所得の見積額が900万円以下の人)に限り、と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)、令和2年中の所得の見積額が95万円以下の人をいいます。

この申告書は、あなたの給付について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。

この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。

この申告書は、2か所以上から給付の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。

この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を經由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の 扶養親族 (平17.1.2以後生)	(フリガナ)氏名	個 人 番 号	あなたとの 親 続	生 年 月 日	住 所 又 は 居 所	控除対象外 国外扶養親族	令和2年中の 所得の見積額	異動月日及び事由
	1				平 金			円
2				平 金			円	
3				平 金			円	

☐ 該当する場合には左記に
チェックを付けてください。

児童扶養手当 証書の番号	生計を一にする 児童の氏名	左 岸 記 事 欄 の 印 を 貼 る 欄	異 動 月 日 及 び 事 由

1. 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書について

資料2-2

令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

(4)「左記の内容」欄の記載事項の不備



左記の内容(この欄の記載に当たっては、裏面の「2 記載についてのご注意」の(8)をお読みください。)
<div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; display: inline-block;"> 「事実婚」の有無を記載 </div>
<p>(注)1 源泉控除対象配偶者とは、所得者(令和2年中の所得の見積額が900万円以下の人)に限ります。)と生計を一にする配 支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、令和2年中の所得の見積額が95万円以下の人をいいます。</p>

給与から控除を受ける B 扶養親族 (16歳以上) (平17.1.1以降出生)	2	明・大 昭・平	特定扶養親族	円				
	3	明・大 昭・平	特定扶養親族	円				
	4	明・大 昭・平	特定扶養親族	円				
	4	明・大 昭・平	特定扶養親族	円				
障害者、寡 婦、寡夫又は 勤労学生 C	区分	該当者	本人	同一生計 配偶者(注2)	扶養親族	寡婦		
	一般の障害者				(人)	特別の寡婦		
	特別障害者				(人)	寡夫		
	同居特別障害者				(人)	勤労学生		
上の該当する項目及び欄にチェックを付け、()内には該当する扶養親族の人数を記入してください。								
他の所得者が 控除を受ける 扶養親族等 D	氏名	あなたとの 続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者 氏名	あなたとの続柄	住所又は居所	異動月日及び事由
			明・大・昭 平・令					

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を經由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の 扶養親族 (平17.1.2以後生)	(フリガナ)氏名	個人番号	あなたとの 続柄	生年月日	住所又は居所	控除対象外 国外扶養親族	令和2年中 の所得の見積額	異動月日及び事由
	1			平・令			円	
	2			平・令			円	
	3			平・令			円	
単身児童扶養者	該当する場合には左記に チェックを付けてください。		児童扶養手当 証書の番号	生計を一にする 児童の氏名	左記の児童の 生年月日	左記の児童の 所得の見積額	異動月日 及び事由	

いて扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
 障害者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する
 異動の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。
 裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。

資料3

令和3年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

所轄税務署長等	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	あなたの生年月日	年 月 日	扶 養 控 除 等 申 告 書 の 記 載 について (この申告書に記入する事項は、必ずしも扶養控除等申告書の記載事項と一致するものではありません。)
税務署長	給与の支払者の法人(個人)番号	あなたの個人番号	あなたの住所	あなたの氏名	
市区町村長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所(郵便番号)	あなたの住所	あなたの住所	

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、ひとり親又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

区分等	(フリガナ) 氏	個人番号		住所又は居所	異動月日及び事由 (令和3年中に異動があった場合は、記載してください。以下同様に。)
		あなたの続柄	生年月日		
源泉控除 A 対象配偶者 (注1)					
控除対象 扶養親族 B (年18.12以前)	1				
	2				
	3				
	4				
障害者、寡婦、ひとり親 又は勤労学生 C	障害者	本人	同一生計配偶者(注2)	扶養親族	障害者又は勤労学生の内容にのっとり、異動の2 記載についてのご注意(注3)を必ずお読みください。
	一般の障害者			(人)	
他の所得者が 控除を受ける 扶養親族等 D	氏 名	あなたの続 柄	生 年 月 日	住 所 又 は 居 所	控 除 を 受 け る 他 の 所 得 者 氏 名 住所又は居所

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第37条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族申告書の記載欄を兼ねています。)

16歳未満の 扶養親族 (年18.12以後生)	(フリガナ) 氏	個人番号	あなたの続 柄	生 年 月 日	住 所 又 は 居 所	異動月日及び事由
1						
2						
3						

税制改正を反映した様式イメージです。
今後、レイアウトの調整などを行う場合があります。



この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
この申告書は、2 か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1 か所しか提出することができません。
この申告書の記載に当たっては、裏面の「1 申告についてのご注意」等をお読みください。

別紙4 「図1」

証明書類

証明書類

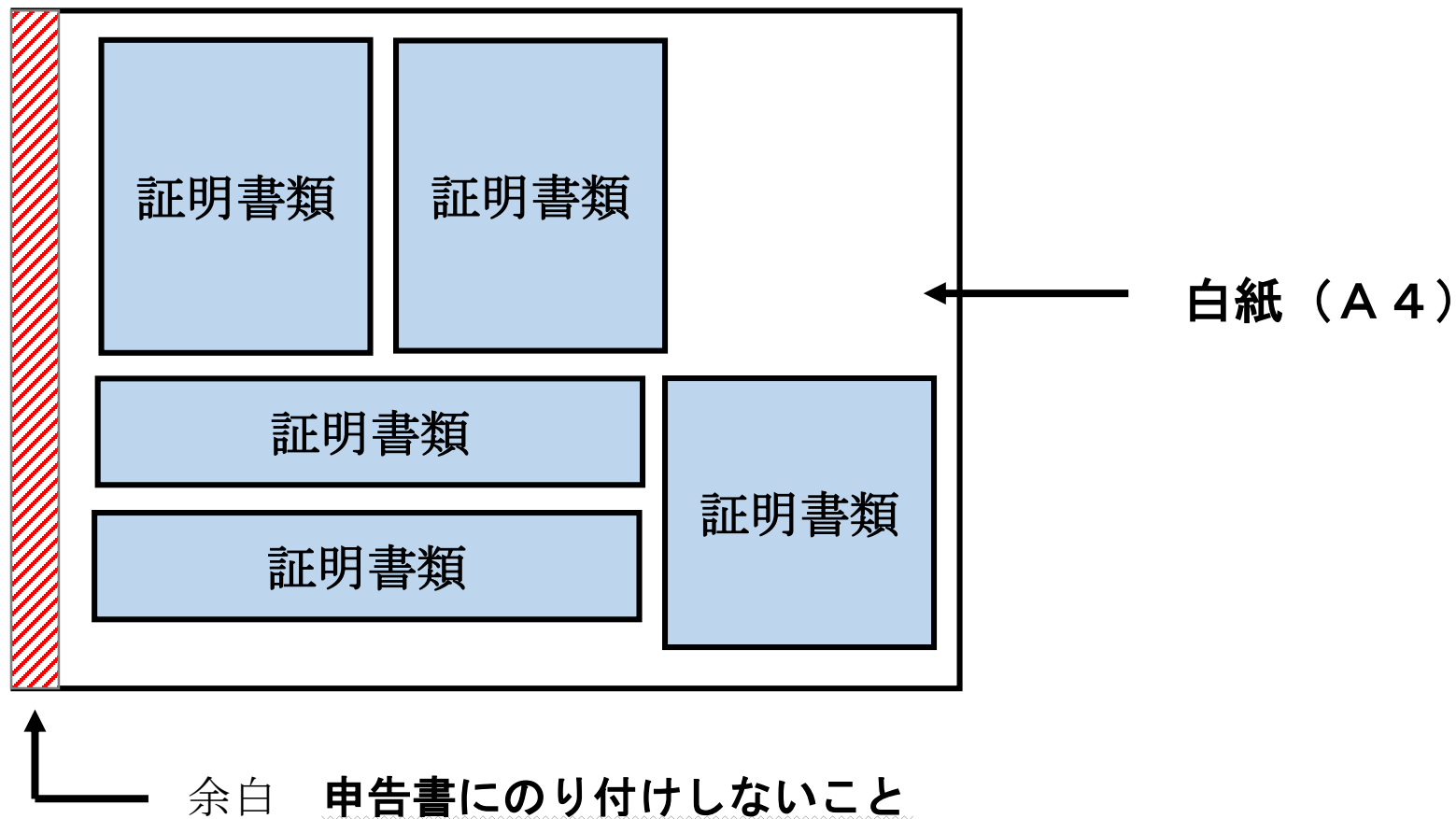
セロハンテープ

白紙 (A 4)

「保険料控除等申告書」の証明書貼付の参考例

2. 保険料控除申告書について

別紙4「図2」



3. 配偶者控除等申告書について

資料1

令和2年分 給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 所得金額調整控除申告書

所轄税務署長 税務署長	給与の支払者の 名称（氏名）	（フリガナ） あなたの氏名	
	給与の支払者の 法人番号	あなたの住所 又は居所	
	給与の支払者の 所在地（住所）		



基・配・所

～記載に当たってのご注意～

- 「基礎控除申告書」と「配偶者控除等申告書」については、次の場合に併せて記載してください。
1 あなたの本年中の合計所得金額の見積額が1,000万円以下で、かつ、配偶者の本年中の合計所得金額の見積額が133万円以下である場合は、「基礎控除申告書」、「配偶者控除等申告書」の順に記載してください。
2 上記1以外で、かつ、あなたの本年中の合計所得金額の見積額が2,500万円以下である場合は、「基礎控除申告書」のみ記載してください（「配偶者控除等申告書」を記載する必要はありません。）
- 「所得金額調整控除申告書」については、年末調整において所得金額調整控除の適用を受けようとする場合に記載してください。なお、あなたの本年中の主たる給与の収入金額が950万円以下である場合は「所得金額調整控除申告書」の「要件」欄の各項目のいずれにも該当しない場合には、所得金額調整控除の適用を受けることはできません。

◆ 給与所得者の基礎控除申告書 ◆

○ あなたの本年中の合計所得金額の見積額の計算

所得の種類	収入金額	所得金額
(1) 給与所得		(裏面「4(1)」を参照) 円
(2) 給与所得以外の所得の合計額		(裏面「4(2)」を参照) 円
あなたの本年中の合計所得金額の見積額 (1)と(2)の合計額		円

○ 控除額の計算

判定	900万円以下 (A)	48万円
	900万円超 950万円以下 (B)	
	950万円超 1,000万円以下 (C)	32万円
	1,000万円超 2,400万円以下	
	2,400万円超 2,450万円以下	16万円
	2,450万円超 2,500万円以下	

区分Ⅰ
(注のA～Cを記す)
基礎控除の額
円

※ 左の「控除額の計算」の表を参考に記載してください。

◆ 給与所得者の配偶者控除等申告書 ◆

- 「控除額の計算」の表の「区分Ⅰ」欄については、「基礎控除申告書」の「区分Ⅰ」欄を参照してください。
- 「基礎控除申告書」の「区分Ⅰ」欄が(A)～(C)に該当しない場合や「配偶者控除等申告書」の「区分Ⅱ」欄が①～④に該当しない場合は、配偶者控除及び配偶者特別控除の適用を受けることはできません。

（フリガナ） 配偶者の氏名	配偶者の個人番号	配偶者の生年月日 男・大 昭和・平 年 月 日
	あなたと配偶者の住所又は居所が異なる場合の配偶者の住所又は居所	非居住者である配偶者 生計を一にする事実

○ 配偶者の本年中の合計所得金額の見積額の計算

所得の種類	収入金額	所得金額
(1) 給与所得		(裏面「4(1)」を参照) 円
(2) 給与所得以外の所得の合計額		(裏面「4(2)」を参照) 円
配偶者の本年中の合計所得金額の見積額 (1)と(2)の合計額		* 円

○ 控除額の計算

区分Ⅱ	
	④(上記「配偶者の本年中の合計所得金額の見積額(1)と(2)の合計額」)(※印の金額)
判定	48万円以下かつ年齢70歳以上 (昭和26.1.1以前生) (①) 配偶者控除
	48万円以下かつ年齢70歳未満 (②) 配偶者特別控除
	48万円超95万円以下 (③)
	95万円超133万円以下 (④)

※ 左の「控除額の計算」の表を参考に記載してください。

◆ 所得金額調整控除申告書 ◆

- 年末調整において所得金額調整控除の適用を受けようとする場合は、「要件」欄の該当する項目にチェックを付け、その項目に応じて「☆扶養親族等」欄及び「★特別障害者」欄にその該当する者について記載してください。
- 年末調整における所得金額調整控除の額については給与の支払者が計算しますので、この申告書に所得金額調整控除の額を記載する欄はありません。

要件	<input type="checkbox"/> あなた自身が特別障害者 (右の★欄のみを記載)	☆ 扶養親族等 同一生計配偶者又は扶養親族の氏名	(フリガナ) あなたの住所 又は居所	左記の者の生年月日 男・大 昭和・平 年 月 日	★ 特別障害者 特別障害者に該当する事実 (裏面「3～2(4)」を参照)
	<input type="checkbox"/> 同一生計配偶者 ^(注) が特別障害者 (右の☆欄及び★欄を記載)				
	<input type="checkbox"/> 扶養親族が特別障害者 (右の☆欄及び★欄を記載)				
	<input type="checkbox"/> 扶養親族が年齢23歳未満(平10.1.2以後生) (右の☆欄のみを記載)				

(注) 「同一生計配偶者」とは、あなたと生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、本年中の合計所得金額の見積額が48万円以下(給与所得だけの場合は、給与の収入金額が103万円以下)の人をいいます。

◎ この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください

4. その他

「追加納付」を防ぐための書類確認について

① 提出前

「扶養控除等(異動)申告書」と「配偶者控除等申告書」
の合計所得金額の見積額が一致しているか確認。

① 提出後

源泉徴収票等で扶養親族等の合計所得金額を確認。

↓↓ 訂正箇所発見 ↓↓

至急、事務所へ訂正報告を！！！！

ご清聴ありがとうございました。